

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和6年度事業点検・評価調書

4-Ⅱ-1

4-Ⅱ-1

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	解説パネル等の整備
節	Ⅱ. ガイダンス機能・ガイド体制の充実	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業(施策)名	1 解説パネル等の整備	関連団体	県文化課
事業実施期間	H28～R6		
事業概要	【事業目的】 ○ 解説パネル等の整備を通じて、来訪者に各構成資産の価値の理解促進を図る。 【事業内容】 ○ 最近の調査研究に基づく解説パネルや見学マップ等、ガイダンスに必要となる基本的な説明媒体の整備を行う。 【本計画終了時点のゴール】 ○ 来訪者受入の拠点施設となるガイダンス施設(きらりうむ佐渡)の整備は令和2年度に完了した。旧西三川小学校笹川分校のサテライトガイダンス施設としての運用を開始する。		
これまでの取組実績	○ 令和2年3月に策定した「史跡佐渡金銀山遺跡整備基本計画」において、遺跡案内表示の整備に関する方針を定めた。 ○ 上記方針に基づき、解説・歩行者誘導・注意喚起等のサイン計画を定め、計画的なサイン設置を進めた。 ○ 令和4年度には、インバウンド対策のため、笹川集落内及び旧西三川小学校笹川分校内の既設解説サインにQRコードを設置した。		
事業計画と実績	【R6年度計画】 ● インバウンド対策のため、相川下寺町地区・鶴子銀山大滝地区に新たに設置する解説サイン12基に英訳を入れる。 【R6年度実績】 ● インバウンド対策のため、相川下寺町地区・鶴子銀山大滝地区に設置する解説サイン13基に英訳を入れた。		
事業評価	【ゴールに対する計画終了時の達成度】 [A ・ (B) ・ C] ◇ 地域保存団体との協議の結果、笹川分校の随時開館はできなかったが、ガイドツアー等での限定的な運用を開始することはできたことから、B評価とした。		
課題	■ 旧西三川小学校笹川分校の運用・活用について、引き続き地域住民との調整を続ける必要がある。		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。